

競技注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2021年日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって運営する。
- (2) 競技者招集について
 - a 招集場所は、第1ゲート付近に設ける。但し、棒高跳の競技者は跳躍場において点呼を受ける。その際に「支柱移動申込用紙」（招集所においてある）を競技役員に提出すること。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。
 - c 競技者本人がアスリートビブス、競技用シューズのピンおよびシャツ・バッグ等の商標チェックを受け、最終点呼を受けること。
 - d 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。
 - e 欠場をする場合は、招集開始時刻までに招集所に置いてある「欠場届」に必要事項を記入し提出すること。
 - f 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - g 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第2種目目以降は混成控室にて点呼（トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前）をとった後、係員の誘導により競技場所へ移動する。
- (3) アスリートビブスについて
 - a 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のアスリートビブスを付けなければならない。跳躍競技に出場する競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - b トラック競技に出場する競技者は、大会本部が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。
 - c 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」…と順位を示す大会本部が用意するアスリートビブス（胸のみ）を使用する。
 - d 4×400mRの第1～3走者は左腰に付け、第4走者は左右両腰に腰ナンバー標識を付ける。
 - e 1500m以上のレースについては、本部が用意するレーンナンバーのビブスを使用する。
- (4) トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則162条の規定通りとする。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (6) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（WA規則第143条TR5に準ずる）
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目については、本大会では **TR5.5** を適用除外とする。よってWAのフィールドシューズ規定に不適合なシューズを使用する場合でも、大会参加には影響はない。ただし、記録については国内で通用する記録としての取り扱い（公認記録、国内上位大会参加資格記録、大会記録）となる。よってその記録は国際大会等での参加資格となる記録や **U18/U20 日本記録**として は認められない。（WAの規定に適合したシューズを使用した競技者についてはその限りではない。） なお、すべてのフィールド種目参加者は招集時に「競技用シューズ申告書」を提出すること。またWAへの記録申請が行われる際は、**WA規則に不適合である競技者の記録には「TR5.5」と付記し、全競技者の記録申請を行う。**
- (6) 組・走路順および試技順について
 - a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技のレーンおよびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
 - b トラック競技における決勝のレーンは番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。
- (7) リレー競技について
 - a リレーのオーダーは、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
 - b リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (8) 跳躍競技のバーの上げ方について
下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。

1 位決定戦は、棒高跳は 5 cm・走高跳は 2 cm の上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m70 1m90	1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 以後 3 cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 以後 3 cm
混成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m40 1m60	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m10 1m30	1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 以後 3cm
棒高跳	男子	練習 3m50 4m00	3m60 3m70 3m80 3m90 4m00 4m10 以後 10cm
	女子	練習 2m30 2m70	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 2m90 以後 10cm

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子 1 2 m、女子 9 m とする。 ※棒高跳の練習はゴムバー使用

(9) フィールド競技について

- a フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に 2 カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを 1 つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- b コーチングエリアを設ける。そのエリア以外での助言等は禁止する。

(10) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助力については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアのみとする。その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技区域内で所持または使用することはできない。

(11) 競技用具について

競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用のポールは検査の上、各自が持参したものを使用する。

2 表彰について

- (1) 各種目とも 8 位までの入賞者は成績発表後、本部前で表彰を行うので受彰者控所（本競技場メインスタンド 1 階雨天走路）に集合すること。その際、競技役員の指示に従うこと。

3 応援について

- (1) 競技場内での声を出しての応援、およびメインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。
- (2) メインスタンドでのテント設営を禁止する。
- (3) ホームストレート延長線上のサイドスタンドでのテント設営、横断幕、のぼり旗は禁止する。
- (4) 横断幕・のぼり旗などの応援布はバック及びサイドスタンド最上段のフェンス及び手すりのみ許可する。

4 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

5 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。規定外のものが見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mR の第 4 走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mR の 1～3 走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。トラック競技終了後は第 2 ゲートから出てスタンドの外側を通ること。ただし、フィールド競技が終了し競技役員誘導の退場の際は認める。
- (4) 本競技場の開場について
10月22日（金）は10時00分、23日（土）～24日（日）以降は7時00分とする。
- (5) 学校受付は、西部緑地公園陸上競技場正面玄関ロビーにて行う。
10月22日（金）は10時00分から17時まで、18日（金）～20日（日）は8時から行う。
- (6) テントの設営場所は、各県指定の場所とする。指定以外の場所は禁止とする。
- (7) 混成競技者控室は、本競技場メインスタンド 1 階雨天走路に設ける。
- (8) 写真・ビデオ等の撮影については、受付で撮影許可証を受けること。また撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。